

診療所だより

不適切な薬剤売買していませんか

マニラ日本人会附属診療所 菊地 宏久

「抗生剤を薬局が売ってくれないんです」——>それはとても良い薬剤師です。

患者さんから、抗生剤の売買に関する不満が最近多くなっています。例えば、「これまでは処方箋無しでも薬局は抗生剤を売ってくれたのに、“医師からの処方箋が無いとダメ”と言われた」、「数か月前に処方された薬の処方箋を繰り返して使おうとしたら，“日付が長期経過しているのでダメ”と言われた」などの不満です。

今まで不適切に購入していた患者さん側にも、売ってしまう薬局・薬剤師側にも問題がありました。最近 **Manila** 周辺においては、薬剤購入における良い意味での規制が強くなってきている印象です。これを機に、不適切な薬剤使用による薬剤耐性問題や副作用発現問題、薬剤関与犯罪等の問題が少しでも減少してほしいものです。

当地では抗生剤に限らず生活習慣病に対する薬剤さえも処方箋が無くても頻繁に売買されています。ワーファリン・抗血栓薬や抗不整脈・降圧剤・抗糖尿病薬など内服量や種類によっては生命にかかわる病態変化を起こしえる危険な薬でさえも不適正に売買

されています。当然患者さんは病院や診療所を受診しません。必要時の検査も受けません。病態が重症化してから受診する患者さんも少なくありません。

現在の病態は数か月前・数年前とは異なっています。不適切な薬剤使用による基礎病態の悪化や副作用発現など命に関わる病状変化につながる可能性もあります。

患者さん自身の安全・健康を守るため、薬剤耐性などの公衆衛生的問題や犯罪につながる問題を引き起こさないためにも、責任のある行動をとっていただくことを希望します。